

この資料では、SpamTitan バージョン7.13のリリースノートの内容を説明します。

アップデート バージョン	バージョン 7.13
配布日(日本国内配布日)	2022年 4月 22日
アップデート方法	オンラインによるアップデート
アップデートに必要な条件	1 Ver 7.12へアップデートが完了していること。
	2 インターネットへ接続していること。
	3 アップデートのリトリブ(ダウンロード)が完了していること。
	4 主記憶が8GB以上 確保されている事。(V7以降)
	5 受信キュー・アクティブキューにメールが滞留していないこと。
	6 MTAからのメールリレーを止めている事。
	7 できる限り、最新バージョンのブラウザをご使用下さい。
アップデートに必要な時間	約 10分~20分程度(サーバ性能による)

サービス停止	あり
サービス停止時間	約 10分+再起動時間
メッセージのロスト	なし
作業中のメール受信	一時的に不可

システム自動再起動	なし(各サービスの再起動あり)
システム再起動時間	約 10分(ストレージの規模による)
ユーザーによる再起動	不必要
システム設定の継承	あり

### 注意点

1	このアップデートを適用すると、これまで保存してきたバックアップファイルが使用できなくなります。バックアップファイルが同一バージョンでのみ適用可能である事は、本製品の仕様となります。
2	メールの処理が停止する為、メールリレーは極力止めるようにしてください。
3	アップデート作業中は、外部の送信者がメールを送信すると、送信者のSMTPサーバが送るべきメールを再送信キューへ一時保管し、特定時間毎に5日程度まで再送信を試みるため、そのメールはアップデート作業完了後に受信する事ができます。
4	クラスタシステムの場合は、全てのノードを同一バージョンへアップデートする必要があります。
5	アップデート作業中は、絶対にシステムの再起動を行わないでください。 ベースOSのアップデートが含まれる為、必ず故障し、またリモートサポートでも修復不可能となります。

### 新機能

1	リンクロックデータを提供するための新しいレポート項目が利用可能になりました。これらのレポートから、悪意があると評価されたURLリンクの量、リンクロック検知URLの受信者等の情報が得られます。
2	リンクロックブロックページをカスタマイズして、独自のロゴ、ヘッダー、メッセージを含めることができるようになりました。
3	リンクロックをリダイレクトされたURLに従わせることを選択できるようになり、URLリダイレクトの一般的に使用されるフィッシング手法から保護します。

### 改良

SpamTitan Anti-Spoofingに、次の機能拡張が追加されました:	
1	mimeでエンコードされたToが設定されていない場合、スプーフィング防止ロジックが代替のToヘッダーを使用するようになりました。
2	ANTISPOOF_NAMEがUTF8エンコーディングをサポートするようになりました。
3	Anti-Spoofの表示名の空白であっても正しく処理されるようになりました。
4	あいまい一致は、表示名をより正確に処理します。
5	表示名のなりすましは、Toヘッダー属性以外にも適用されます。

6	アンチスプーフィング機能により、アイテムが存在する場合はCCヘッダーがチェックされ、必要に応じてあいまい一致が適用されるようになりました。
7	評価ロジック中のあいまい一致において、アンチスプーフィング属性値ルールが正しく考慮されるように変更されました。
8	ANTISPOOF_NAMEは、名前を偽装したメールに対して正しくトリガーされるようになりました。
9	アンチスプーフィングロジックが強化され、パフォーマンスが向上します。
10	ルールに影響を与えるために、あいまい一致スコアが増加しました。
<b>リンクロック機能に以下の改善がありました:</b>	
1	壊れたURLを引き起こす複数の問題が修正されました。
2	" "、スペース、Unicodeなどの特定の文字に関連するURLの処理が改善されました。
3	リンクロックがHTMLの<a>および<base>タグのURLにアプローチする方法が改善されました。
4	URLの解析に、より正確なシステムを使用するようにURL処理が強化されました。
5	インラインRTFコンテンツタイプのリンクは現在書き直されています。
6	送信者フィールド内のリンクが処理されることを確認するようになりました。
7	件名ヘッダーのリンクが書き直されるようになりました。
8	マルチパートメールが正しく管理されるようになりました。
9	リンクロックエラーによってmaillogで消費されている追加のスペースが解放されました。
<b>リンクロックAPIの改善:</b>	
1	GlobalAllowedURLsテーブルに重複するエントリを追加できてしまう問題が改善されました。
2	ページごとに返される結果の数を含めるためのAPIドキュメントの修正。
3	LinkLリンクとして機能を参照していたAPIドキュメントがLinkLockに更新されました。

## バグ修正

1	libSPF2の脆弱性に対応しました。: CVE-2021-33912、CVE-2021-33913。
2	履歴ページのCSVインジェクションの脆弱性の可能性がなくなりました。
3	スパムメールを管理するための新しいルールがプッシュされました。
4	impersonate.phpロールタイプパラメータがサニタイズされ、正しい入力をチェックおよび検証するようになりました。
5	重複するドメインエントリをAPIで作成できなくなりました。
6	IPv6のデフォルトルートが保存され、再起動後に取得されるようになりました。
7	アーカイブ内で「ブロック」に設定すると、EXEファイル拡張子の付いたRARファイルがブロックされるようになりました。
8	マルチバイト文字の問題として履歴ページが正しく読み込まれるようになり、より適切に処理されるようになりました。
9	リンクロックは、元の長さが書き換えられた長さよりも長い電子メールのリンクを書き換えるようになりました。
10	URLを含むエンコードされた件名行がメールキューでスタックしなくなりました。

## インストール経過

[192.168.101.249] Install revision 7.13

```
001: Install System Update 7.13 started ...
002: Current Version: 7.12
003: Searching for unapplied updates from 7.12 to 7.13
004: Installing System Update 7.13
005: Starting Installer ...
==== This may take several minutes depending on the speed of your system.
==== DO NOT REBOOT THE APPLIANCE DURING OR DIRECTLY AFTER THE INSTALLATION.
* Stopping postfix
* Stopping amavisd
* Stopping ClamAV
```

- \* Stopping st\_milter
- \* Stopping postgresql
- \* Stopping Redis
- \* Stopping Queue Workers
- \* Installing patches

.....

- \* Starting postgresql
- \* Database updates...
- \* Starting Redis
- \* Starting BitDefender
- \* Starting ClamAV
- \* Starting amavisd
- \* Starting st\_milter
- \* Starting postfix
- \* Start Queue Worker
- \* Updating SpamAssassin, BitDefender and ClamAV databases.

amavisd is running as pid 58327.

Stopping amavisd.

Waiting for PIDS: 58327.

Stopping clamav\_clamd.

Waiting for PIDS: 58291

Stopping milteropendkim.

Waiting for PIDS: 58270

Status of SpamTitan Milter Daemon: Process running with pid 58334

Stopping SpamTitan Milter Daemon:

Process found, stopping

Stopping bdamsrserver.

Waiting for PIDS: 58293

Stopping redis.

Waiting for PIDS: 58255

Starting redis.

Starting milteropendkim.

Starting clamav\_clamd.

Starting amavisd.

Starting SpamTitan Milter Daemon: No process found, starting up

st-maillogmon started

Performing sanity check on openssh configuration.

Stopping openssh.

Waiting for PIDS: 58455

, 58455.

Performing sanity check on openssh configuration.

Starting openssh.

Broadcasting queue restart signal.

Please stand by...

Done. Installation Complete.

006: OK



ジュピターテクノロジー株式会社 お問い合わせページ  
<https://www.jtc-i.co.jp/contact/>